

臨床現場において、頻繁に遭遇する課題の中で、複数の専門領域にまたがるものは珍しくない。こうした課題の中で、患者や医療従事者に影響を及ぼす度合いにかかわらず、エビデンスが限られている分野が存在することは少なくない。

演者は、これらの問題に気づき、臨床研究を行うことで少しでも現場に貢献したいと思うにいたった。しかし、一人の臨床医がその思いだけで、臨床研究を行うのは容易ではなかった。本講演では、筆者が、この様な場面をどの様に乗り越え、着目した分野のエビデンスを補うことができたのかを振り返りながら、これから臨床研究に取り組んでみたい方、現在多くの問題に直面している方に少しでも参になる内容を伝えたい。